

今回は変則的な語順について扱う。

ウクライナ語は基本的に SVO の語順を取ると第3回で記したが、ここではその例外を示す。まだ登場していない構文も登場することがあるが、語順以外の解説は省略する。

- ・ SS 型

SS 型とは、どちらも主語である文のこと。英語では後者を目的格にしてこの2語の間に **be** 動詞が入る。格変化はどちらも主語なのでどちらも主格を取る。

(例)

- ・ Це я! (私だ！)
- ・ Хто вона? (彼女は誰？)

- ・ SOV 型

SOV 型とは、日本語と同じ語順の文のこと。相異なる人称代名詞同士が並ぶとこの語順が変わる。ただし通常通り SVO の語順でも構わない。

(例)

- ・ Я тобі вірю. (私は君を信じる。)
- ・ Він її любить, але вона його не любить. (彼は彼女が好きであるが、彼女は彼を好きではない。)

- ・ OV型

OV型は、命令文において、目的語が人称代名詞であるときに発生する語順変化である。なお通常通りの語順でもかまわない。

(例)

- ・ Мене пам'ятайте. (私を覚えておけ。)

ここまでを要約すると、ウクライナ語は主語を除いて格がはっきりしていれば語順はバラバラでもよいことになるが、原則とこれらの例外を踏まえて文章作成するとよりウクライナ語を理解することができるだろう。

◇単語集

単語	意味
гарячий	熱い
добрий	良い
другий	2番目の
жовтий	黄色の
зелений	緑色の
молодий	若い
новий	新しい
перший	1番目の
поганий	悪い
свіжий	新鮮な
синій	青い
український	ウクライナの
холодний	冷たい
червоний	赤い
чоловічий	男性の
японський	日本の

コラム 外来語

ウクライナ語における外来語は、転写が主流である。

英語由来

комп'ютер(コンピュータ), цивілізація(文明)など

日本語由来

цунамі(津波), дзюдо(柔道)など

また、ウクライナ語での外国人の名前や外国の地名は翻字が主流である。

アメリカ人名

Чарлі(チャーリー), Майк(マイク)など

日本人名

Акiто(彰人), Харука(遥)など

今回は接続詞。接続詞は、語句と語句、または文と文をつなぐために使う単語の部類である。日本語では「そして」や「しかし」、英語では「and」や「but」などが該当する。

(例)

- **Ось де я був учора.** (ここは私が昨日いたところだ。)
- **Я їм хліб і мед, а ви?** (私はパンとハチミツを食べるが、あなたは?)
- **Вибачте, але мене там немає.** (申し訳ないが、私はそこにはいないんだ。)
- **Тому що ти це зробив, мені було боляче.** (君がこれをしたから私は痛めたんだよ。)

例文 1 は **де** が接続詞の役割を果たしており、**де** 以下で場所を説明している。

例文 2 は **а** が接続詞の役割を果たしており、**а ви?** と聞くことで、英語でいう **How about you?** に相当する意味をなす。

例文 3 は **але** が接続詞の役割を果たしており、**але** 以下でなぜ詫びたのかを説明している。

例文 4 は文頭に接続詞を置いた用法であり、**тому що** は英語でいう **because** に相当するイディオムである。

◇単語集

単語	意味
жирафа	キリン
крокодил	ワニ
метелик	蝶
морська зірка	ヒトデ
морські водорості	海藻
лизати	なめる
надуманий	こじつけの
невідомий	知られていない
носоріг	サイ
отрута	毒
павук	クモ
повільний	遅い
привид	幽霊
сова	フクロウ
цикорій	チコリ
черпаха	カメ
щур	ラット
ящірка	トカゲ

今回は与格主語。与格は第15回で解説したが、これが主語になるケースがある。そのことを与格主語という。日本語では語頭の「～には」などが該当する。なお現代英語にこの構文はないが、古英語には対格と同形で与格を表した歴史がある。

与格主語を使う構文において、動詞は必ず三人称単数形をとる。

(例)

- **Мені** треба бути тут. (私はここにいる必要がある。)
- **Йому** подобається Токіо. (彼は東京が好きだ。)
- **Мені** це подобається, і їх потрібно робити. (私はそれが好きであり、彼らはそれをする必要がある。)
- Скільки **їм** років? (彼らは何歳?)
- **Вам** уже 18 років? (あなたは既に18歳?)

◇単語集

単語	意味
акула	サメ
виконувати	実行する
доставити	届ける、配信する
кактус	サボテン
камінь	石
КИТ	クジラ
компас	方位磁石
корінь	根
лід	氷
мангуст	マンゲース
мрія	夢
пелікан	ペリカン
спати	眠る
троянда	バラ(花)
хропіти	いびきをかく
щит	盾